

# 2020 年度アンケート集計

## 実習生を受け入れるため、園として大切にしていること

- ・保育士の魅力ややりがい、面白さ、保育士になりたいという気持ちが膨らむように・・・
- ・実習生との会話（コミュニケーションの工夫、年齢の近い保育者が担当するなど）
- ・失敗して当たり前、可能な限りのサポートをする
- ・実習でしか学べないことをしっかり学んでもらう現場の指導力や対応を学んでほしい
- ・モデルとなる保育生を見つけて真似ることの重要性

## 実習生を受け入れることで園の負担（苦勞）

- ・実習日誌などの添削の時間が行事等前だとどうしても取れない（持ち帰りの仕事になることもある）
- ・実習生がいると子どもたちが落ち着かずテンションが上がることもあり、普段よりも気を配る必要がある。
- ・コロナのリスク
- ・評価が難しい
- ・意欲を感じられない学生の指導は難しい

## 新卒者に対して、もっとこういうこと学んできて欲しいと思うこと

- ・多岐にわたって・・・

（文章の書き方、支援を必要とするこの対応、大人としての挨拶、行動を予測する力（無理ですが）、観察する力、自らの意見を行ける姿勢、 ピアノなどの実技、掃除、等々）

## 保育実践の原板から養成校・学生に伝えたいこと

- ・自園の特徴、方針をしっかりと把握して実習に来て欲しい（それが分かるためのデータを集めて実習生の選択の材料としてみてはどうか）
- ・学生の意識が大切（先生と呼ばれる職業に就こうとして実習している（学びにきた）、わからないことが多くても消極的になるのではなく、若者らしくはつらつして欲しい。
- ・自分なりの目的をもって、意欲をもって臨んで欲しい。
- ・社会に出て、お給料をもらうということ→仕事なのだから楽しいことばかりではない、いやなこともあるが、その中で成長して行って欲しい。
- ・わからないことはどんどん質問して欲しい。
- ・社会情勢にも興味を持って。
- ・自分の目で、足を運んで保育現場を見て、働きたい職場を見つけて欲しい（処遇・働く場所だけを条件にしないで欲しい）

## 保育実践の現場から養成校・学生に伝えたいこと

### 協議会（組織）へ

- ・各園の長年培った保育の伝統（方針）等があるので、それをデータとして集めて学生の実習先、選択の材料としてみてはどうか。各園の特色を学ぶと保育を視る幅も広がるのが期待できる。

### 養成校へ

- ・学生ははつらつとしていて欲しい。はつらつとした学生の育成に努めてほしい。
- ・理論に傾倒しないでほしい。
- ・郡部にも目を向けて欲しい。
- ・「先生」と呼ばれる職業です。人間力を高めるプログラムをお願いします。

近年は、殆ど短期大学の養成校の学生ばかり受入れている為、4年の大学生との違いを判断することは出来ないが、やはり仕事としての保育を考え プロ意識(託児ではない乳幼児の人間形成を育む尊い仕事)を最初から育てるカリキュラムを組み込んでほしいしまた、学生自身も意識してほしい。

- ・現代の子供を取り巻く環境は、家族構成や親の就労形態などにより大きな変化があるので、授業が全てでなく、一つひとつ、一人一人のこどもに合った対応ができるような応用力を持つことも大切だと思う。
- ・自主実習のお願いを学校側がされるが、実習生本人は意欲的でなく、しても、しなくても・・・みたいな感じである。

### 目標を持って

- ・自分がどんな保育士になりたいか、どういう働き方をしたいのか将来のビジョンを確立してください。
- ・実習に来るとき、どんなことを学びたいか、意欲を高めてきて欲しい。
- ・自分なりに目標を持って取り組んで欲しい。評価や失敗を恐れずチャレンジして次へ生かせる実習をしてほしい。

### 仕事として

- ・夢も大事だが仕事です。
- ・社会に出てお仕事をしてお給料をもらうのだから、良い事ばかりではないよということを教えておいて欲しいと思う。楽しいこともあれば、嫌なこともある。その中で成長してほしい。

### アドバイスとして聞いて

- ・ボランティア、アルバイトなど就職する前に世界を広げて欲しい。良い保育に繋がると思う。
- ・バイトしている子の方が社会に出ている分仕事の入り等が良い。
- ・どんどん質問してほしい。
- ・新聞を読んだり、ニュースを見たりして、社会の情勢にも興味を持って欲しい。
- ・コロナ禍での情報は隠さず報告してほしい。
- ・学生の時にたくさん手あそびの技を磨いたり、シアターなどの作り物をしておくと、すぐに現場で利用できるのも、学生のうちに頑張ってもらいたい。
- ・相手が人なので教科書通りにはいかないことを知っておいて欲しい。
- ・わからないことは先輩保育士にどんどん質問して、スキルを身に付け、少しずつ自信を持てるようになればそれでいい。
- ・園を選ぶ際、労働が楽そうだから、とか、処遇が良いから、という目先の条件ばかりで選ぶのではなく、このような保育をやりたいという芯を持って職場を選んで欲しい。
- ・守秘義務の徹底。
- ・コロナ感染予防の徹底。
- ・現場によって保育内容は様々です。ぜひ足を運び実際見て働きたい職場を見つけて欲しい。
- ・子どものために出来ることを考えられる保育者になってほしい。
- ・基本的な挨拶、礼儀を大切にしてほしい。

### やりがいのある魅力ある仕事

- ・保育の大変さよりも保育現場の楽しさ、やりがいをもっと知ってもらいたい。